

この情報はシンガポールに滞在される方々に対しジカ熱に対する正しい知識をもっていた
だき、効果的な自己防衛に役立てていただくことを目的として掲載をしております。なお、今後
も保健省及び環境庁のホームページ掲載情報が更新され次第、随時掲載してまいります。

平成 28 年 9 月 3 日
在シンガポール日本国大使館

ジカウイルス感染症：シンガポールの現状（9月2日12時時点）

以下の文章は、9月2日付のシンガポール保健省の報道発表を基に作成しています。

- 1 9月2日12時時点で、シンガポール保健省は、新たに38例のジカウイルスの国内感染を確認した。このうち、34例は Aljunied Crescent/Sims Drive/Kallang way/Paya Leber Way と関連があり、残りの4例はこれまでの地域と関連がなかった。

ベクターコントロールの最新状況

- 2 ベクターコントロール（殺虫剤散布等による蚊の駆除）は引き続きジカウイルスの拡大を減らすカギである。建物の所有者は、定期的にベクターコントロールを実施し、潜在的な蚊の産卵場所を駆除するために常に住居内を適切な状態に保たなければならない。また、住民は、5-step Mozzie Wipeout（*）を行うことで家庭の中の蚊の生息地を予防するといった役割を担う必要がある。

* 5-step mozzie Wipeout

- ① 毎日、花瓶や鉢の水をかえる
- ② 毎日、鉢植えポットプレート（受皿）の水を除去する
- ③ すべての水の貯蔵容器を裏返しにする
- ④ 物干し等（Bamboo pole holders）を使用しない時には、カバー（両端に付ける穴をふさぐ物）を付ける
- ⑤ 雨どいに詰まりがないようにし、毎日、殺虫剤を入れる

- 3 環境庁は、Aljunied Crescent/Sims Drive/Kallang way/Paya Leber Way の蚊の数を抑制するためにベクターコントロールを継続している。9月1日現在、55の生息地（うち30は家庭から、25は共有エリア又は他の建物から）が発見され駆除された。屋内では殺虫剤がまかれ、屋外においては殺虫剤を噴霧し、排水溝においては油の膜を張り（注：水面に油の膜を張ることにより、ボウフラが呼吸できなくし、また親蚊が産卵できなくする）、洗浄するという対応を継続している。また、環境庁は、Inter Agency Dengue Taskforce

のメンバーとともに学校や建設現場、高速道路の排水溝といった、建物や資産に対してそれぞれベクターコントロールを実施している。環境庁の職員と草の根団体のボランティアは、Aljunied Crescent/Sims Drive でのアウトリーチ活動を完了し、Kallang way/Paya Leber Way のジカウィルス感染症が拡大した地域へのアウトリーチを実施している。

- 4 また、環境庁は、Bedok North Avenue 3 においてベクターコントロールとアウトリーチ活動を実施した。9月1日現在、19 の蚊の生息地（うち 12 は家庭から、7 は共通エリア又は他の建物から）が発見され駆除された。蚊の抑制対策が進行中である。
- 5 今後2週間、島全域で地域へのアウトリーチ活動が予定されている。ここでは、すべての住民対し、5-step Mozzie Wipeout、よどんだ水の除去、ごみを捨てないことを実行することにより、ジカに対する戦いにおける集団的な取り組みに参加するよう呼びかける。

詳細は、シンガポール保健省及び環境庁のウェブページをご覧ください。

(シンガポール保健省の発表)

https://www.moh.gov.sg/content/moh_web/home/pressRoom/pressRoomItemRelease/2016/joint-moh-nea-statement--2-sep-.html

(シンガポール環境庁の発表)

[http://www.nea.gov.sg/corporate-functions/newsroom/news-releases/joint-moh-nea-media-statement-on-zika-\(2-september-2016\)](http://www.nea.gov.sg/corporate-functions/newsroom/news-releases/joint-moh-nea-media-statement-on-zika-(2-september-2016))